



隠岐水だより

隠岐水産高等学校 P T A だより

隠岐水産高等学校

百十周年記念式典

平成29年 島根県立隠岐水産高等学校は創立百十周年を迎えました。これを記念し、10月7日(土)に隠岐島文化会館において、創立百十周年記念式典が執り行われました。大勢の来賓の方々をお迎えし、また、地域の方々や卒業生の方々にもご列席いただきました。来賓の方々から盛大なお祝いの言葉をいただき、生徒会長の3K吉山君は壇上の立派な松にも負けない堂々とした挨拶を披露しました。

式典終了後、海洋生産科1年生による隠岐太鼓が催し物として行われました。2ヶ月間この日のために練習を積み重ねてきたことが伝わってくるようなアトラクションでした。心に残る催し物でした。

隠岐太鼓の後には、榊大成出版社 取締役会長の松林久行様による記念講演が行われました。「感謝と決断」という演題で多くのお話をしてくださいました。生徒たちは一生懸命話を聞いており、大先輩からのお話に、大いに感じるものがあったのではないかと思います。

式典会場では、この百十周年を懐かしい写真とともに振り返る回顧展が同時開催されました。懐かしい記憶に想いを馳せながら談笑する姿も見られました。実りある時間が過ごせたことと思います。



(上) 式典の様子 (中) 隠岐太鼓の様子 (下) 記念講演の様子

百十周年記念水高祭

記念式典翌日の10月8日(日)に水高祭が行われました。通常は3年に1度の開催ですが、今年は開校百十周年という祝いの年でもあり、記念として特別に開催となりました。隠岐水産高校の各コーナから出店や実習製品の販売、展示等が行われました。大勢の保護者、地域の方々にご参加いただき、行列のできたコーナーも見られました。水高祭は大変な賑わいを見せ、大成功といえる結果に終わったのではないのでしょうか。



校内マラソン大会開催

隠岐水産高校では、自己の体力、体調ペースを確認するためにマラソンを行っています。その締めくくりとして、10月28日(土)に校内マラソン大会が開催されました。約1ヶ月の練習を経て男子は16km、女子は10kmのコースを走りました。当日の天気はくもりでしたが、マラソンにはちょうど良い気候だったのではないのでしょうか。上位を目指して懸命に走るもの、時折見える良い眺めに何かを感じつつ走るものと、生徒の様子は様々でした。時間切れによる失格者はおらず、みな完走できたことが何よりの結果だったと思います。完走後はPTAの方々特製の豚汁が振舞われました。これから寒くなり体調を崩しやすくなります。適度に運動を続け、健康な体作りにも励んでほしいものと思います。



(左上) スタートの様子。一斉に走り始めます。
(右上) 振舞われた豚汁。体が温まる逸品でした。
(右下) コースを走る生徒の様子。
(左下) タイム上位者は男女それぞれ表彰されました。おめでとう！

隠岐水生、多方面で活躍中！

2学期も後半となり、平成29年の終わりが見えてきました。この2学期は行事が多く、学校全体が忙しくもありました。その中でも生徒たちは勉強だけでなく文化的な活動にも精力的でした。その中でも優秀な成績を修め、表彰された活動について報告します。

まず、本校の食品クラブが「第二回食の縁結び甲子園」にエントリーしました。書類選考からのスタートでしたが、多くの参加校の中から出場権を勝ち取りました。県予選大会では海洋生産科2年の3名が出場し、敢闘賞を受賞しました。次回も健闘が期待されます。

次に、海洋クラブが「2017 隠岐の島町高校生ビジネスプランコンテスト」に参加しました。アラメを軸に、藻場の回復とアラメドレッシングの考案について発表が行われました。しっかりとした調査が評価され、結果は見事、優秀賞を勝ち取り、新聞にも掲載されました。

最後に、海洋システム科および海洋生産科の1年生が高等学校生徒書道展に参加し、本校からは5名が特選を受賞しました。

資格取得のほか、多くの文化活動に力を入れている生徒が大勢います。活躍できる場所は色々あると思うので、自分に合った活動を見つけて積極的に取り組んでほしいと思います。

後期生徒会会長決定！

11月6日(月)に後期生徒会の会長を選挙会長選挙が行われました。3名の生徒が名乗りを上げ、力強い演説が行われました。結果として海洋システム科2年生の村上勇斗君が当選となりました。選挙時、村上君は神海丸に乗船しマグロ実習に参加していました。隠岐水に戻った実習で培った力も含め、彼の手腕が振るわれることでしょうか。行事の活性化と校内美化の推進を公約として掲げていましたが、これから学校がどのように変わっていくのでしょうか。村上君が本校に新たな風を吹き込んでくれることを期待しつつ、その活動を応援していきます。